

(令和5年第4回大崎市議会定例会)

行政報告

令和5年12月6日

本日，ここに令和5年第4回大崎市議会定例会が開催されるにあたり，当面の諸課題及び行政の一端を申し述べ，議員並びに市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第212回秋の臨時国会が10月20日に召集されました。

岸田内閣総理大臣の所信表明演説では，急激な物価高に対して，地方自治体が地域の実情に応じてきめ細かく生活者や事業者を支援できるよう，補正予算により重点支援助地方交付金を追加すると述べられました。

この補正予算は，11月29日に参議院本会議で可決，成立され，物価高騰対策を加速することになりました。

本市においても，生活者・事業者への直接的支援はもとより，将来的な負担の軽減などを見据えた事業の検討を進めており，早急にお示しできるよう取り組んでまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種について申

し上げます。

9月20日から、オミクロン株XBB系統に対応したワクチンを使用し、生後6カ月以上の方を対象に、令和5年秋開始接種を実施しております。

11月30日現在、令和5年秋開始接種の接種者数は3万235人、接種率は24.2パーセントとなっております。

来年3月まで、接種費用は全額、公費負担となりますので、市民の皆様には接種についてご検討いただくよう、お願いいたします。

また、感染予防の基本的な対策である、効果的な換気、手洗いや手指の消毒、適切なマスクの着用を心がけていただき、感染が広がっているインフルエンザの予防対策を含めて、今冬の健康管理に留意していただくよう、お願いいたします。

新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策事業について申し上げます。

令和5年度市民税均等割が非課税の世帯、生

活保護受給世帯，家計急変世帯に対する支援金支給事業につきましては，10月31日まで受付を行い，11月30日現在で，1万1,749世帯に対し，1世帯当たり3万円，総額では3億5,247万円を支給いたしました。

低所得のひとり親世帯等の児童に，一人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業につきましては，本年5月にプッシュ型で給付したほか，令和5年度住民税非課税世帯や家計急変世帯からの申請を継続して受け付けており，11月30日現在で1,877世帯に対し，1億5,975万円を支給いたしました。

今後とも申請があった場合には，速やかな支給に努めてまいります。

「宝の都・大崎」プレミアム電子商品券パタPAYについては，461事業者が取扱店舗に加入いただき，現在は，第3次販売の当選者購入期間となっており，完売する見込となっております。

各店舗での専用券並びに共通券の利用率は、
11月30日現在で65.8パーセントとなっ
ております。

鳴子温泉郷「パタPAYお買い物クーポン」
につきましては、来年1月25日まで公共交通
を利用して鳴子温泉郷に宿泊されるお客様に1
泊2,000円分を配布しております。

より多くの皆様に公共交通による鳴子温泉郷
への旅行をお楽しみいただけるよう、12月4
日にJR古川駅にて本キャンペーンのPR活動
を行いました。

また、燃料価格等の高騰により経営に大きな
影響が生じている道路運送事業・クリーニング
事業等を営む中小企業等及び個人事業者を対象
とした燃料費緊急支援金については、11月1
日から申請を受け付け、11月29日から支給
を開始しております。

県内への半導体工場の誘致について申し上げ
ます。

10月31日に大衡村の第二仙台北部中核工

業団地に新たに半導体工場が建設されることが発表されました。

さらに、11月14日には宮城県と大衡村、台湾の半導体受託生産メーカーであるP S M Cが出資する準備会社のJ S M Cの三者による新工場の立地に向けた協定が結ばれ、令和6年後半に着工したいとの考えが示されたところであります。

本市におきましても、地域経済の活性化に向けて関連産業の受注拡大や従業員の居住など、様々な効果が期待できることから、関係機関や団体とともに受入態勢の構築に向け、積極的に取り組んでまいります。

それでは、以下、令和5年第3回大崎市議会定例会以降の行政報告を申し述べます。

○市政功勞表彰について申し上げます。

11月3日の文化の日に大崎市民会館において、令和5年大崎市表彰式を挙行いたしました。

当日は、叙勲ならびに褒章の受章者23名、

礼遇者 2 名， 市政功労者 1 5 7 名， 2 1 団体に
対して顕彰と表彰を行いました。

受彰されました皆様には， 改めて敬意と祝意
を表しますとともに， これからもご健勝にてご
活躍され， 市政の各般にわたり， なお一層のご
指導， ご鞭撻を賜りますようお願いするもので
あります。

○(仮称)大崎市立日本語学校について申し上げます。

開設場所となる， 旧大崎市立西古川小学校の
改修事業につきましては， 1 期分の設計業務が
完了し， 年明け後， 工事に着手いたします。

教職員の確保につきましては， 現在， 専任教
員， 講師並びに事務員の採用手続きを進めてお
り， 年内には採用予定者を決定できる見込みと
なりました。また， 校長につきましても， 採用
の手続きを進めております。

学生寮につきましては， 市有地であります旧
古川東保育所跡地を有効活用し， 民設・民営に
より整備するよう準備を進めてまいります。

○地域公共交通について申し上げます。

本年10月からJR陸羽東線の利用実態調査等を随時進め、来年3月の調査報告書の作成に向けて取り組んでおります。

また、職員の公共交通通勤デーなどの取組により、9月29日付けで「エコ通勤優良事業所」に認証されましたので、これを契機に市内事業所等においても同様の取組が広がるよう、より一層働きかけてまいります。

○大崎市男女共同参画推進基本計画について申し上げます。

令和4年度に実施したアクションプランに掲げる27事業の進捗状況を大崎市男女共同参画推進審議会に諮問したところ、多くの項目で妥当であるとの評価をいただきました。

一方で、子どもたちの成長にあわせた体系的な取組の必要性などにつきましてもご提言がありましたので、引き続き、本市が目指す「一人ひとりが一人の人間として大切にされる社会」の実現に向け取り組んでまいります。

さらに、令和6年度から12年度までを計画

期間とする第4次基本計画につきましては、現在、計画の中間案の議論を進めております。

今後は、審議会やパブリックコメントを実施するなど、市民意見の反映に努め、年度内の策定及び公表に向け取り組んでまいります。

○放射性物質に汚染された農林業系廃棄物の処理について申し上げます。

焼却処理につきましては、11月30日現在で今年度処理予定の333トンのうち、318トンの処理が完了しております。今後も、厳しい監視体制のもと、市民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。

また、汚染牧草の減容化につきましては、約19.40ヘクタールの農地に、約388トンのすき込みによる処理を予定しており、11月30日現在で、16ヘクタール、320トンの処理が完了しております。

未指定廃棄物の処理につきましては、県外搬出による処理を開始しており、11月30日現在で88トンの処理が完了しております。

安全・安心を最優先に今年度中に処理を進め、

保管にご協力いただいている農家の負担軽減に向け取り組んでまいります。

○大崎地域の医療提供体制の確保について申し上げます。

10月28日、本市は、色麻町、加美町、涌谷町及び美里町のそれぞれと大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約を締結いたしました。

このことにより、1市4町の役割分担や連携内容が確認されたことから、本市の役割を果たしながら、大崎圏域に暮らす人々が安心して医療を受けられるよう、体制の整備を進めてまいります。

○水稻の作柄について申し上げます。

東北農政局が発表した作況指数によると、県北部で105の「やや良」となっております。

本年は、高温障害が懸念されましたが、ひとめぼれや、本市のブランド米である「ささ結」に関しては、一等米比率が90パーセントを超

えており，大きな影響を受けることなく市の内外に出荷されております。

○ササニシキ誕生60周年記念事業とささ結の販売促進について申し上げます。

本年は，ささ結の母系であるササニシキが，誕生60周年を迎える記念の年となります。

本市においては，ササニシキの功績を称えて古川駅前に設置されておりますブロンズ像を修復し，11月24日には，関係機関や報道機関の皆様にお披露目を行い，改めてササニシキ系復権への思いを強くしたところであります。

例年，実施しております「新米まつり」や，姉妹都市東京都台東区の学校給食への新米贈呈に加えて，10月30日には，本庁舎市民交流エリア「パタ崎さん家」において「新米フェアプレオープンイベント」として，ささ結を使用した特製弁当の企画販売を行い，11月1日からは「新米フェア」を開催しております。

さらに，11月15日には，東京大学の「Dining Lab 食堂コマニ」において，東

京大学と共催で「世界農業遺産 大崎耕土」新米体感フェアを開催いたしました。

世界農業遺産とササニシキに関するプレゼンテーションや，新米の試食を通じ，ご参加の皆様に，大崎耕土の魅力と，ササニシキ系のお米の価値や美味しさを知っていただくなど，有意義な情報発信と交流の輪を広げる催しとなりました。

また，本年で第7回を迎えた「全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2023」につきましては，県内外から合計83点の出品を受けて開催いたしました。11月22日に行われた最終審査では，第7代目の「ささ王」として，ササニシキを生産された蔵王町の農業生産法人エコファーム蔵王に決定いたしました。

ささ結の最高賞である「大崎耕土賞」は，市内松山地域の菅井宏樹さんが受賞され，東京銀座の百貨店でのPR販売が決定しております。

なお，当日は，ササニシキ誕生60周年の記念講演や鼎談，一般参加者による食べ比べなども実施いたしました。

○世界農業遺産の取組について申し上げます。

鹿島台商業高等学校の生徒からの後継者育成プログラムの提案を基に，大崎耕土を巡るG I A H S ツーリズム研修を11月10日に実施いたしました。

高校生がガイドとなり，地元の品井沼干拓に関わる農業遺産資源や互市も含め，まち巡りのほか，田尻地域では地元ガイドによる蕪栗沼でのマガンのねぐら入りの観察など，ネイチャーポジティブの観点も含めた地域資源の魅力を改めて知る研修となりました。

引き続き，次世代の担い手となる高校生などと連携し，SDGsと連動した取組を行いながら，持続可能な地域づくりの推進に努めてまいります。

○地域産業の振興について申し上げます。

一般社団法人おおさき産業推進機構につきましては，大崎地域全体の内発的産業振興を目指し，設立準備委員会での議論を経て，11月22

日に設立総会が行われました。

本市としても，県内外の産業支援機関との緊密な連携体制の構築やニーズ把握などに取り組んでまいります。

また，おおさき産業フェアにつきましては，10月20日と21日の2日間にわたり，鹿島台地域の鎌田記念ホールを会場に，4年ぶり，11回目として開催いたしました。

47の企業・団体が出展し，2,600名の来場者があり，大崎地域の優れた製品・技術を広く発信するとともに，300名の地元高校生に，地域産業を身近に体験していただきました。

○国際交流事業について申し上げます。

11月19日に大崎市役所本庁舎を会場に，宮城県と共催で，「日本語学校を核とした地域の多文化共生」をテーマとした「多文化共生シンポジウム in おおさき」を開催いたしました。

当日は，市の内外から107人の参加があり，本市が日本語学校開設のモデルケースとしている，北海道東川町の事例を前町長の松岡市郎氏

に講演いただき，さらには県内在住の外国人の方を含めた多文化共生の有識者によるパネルディスカッションも行いました。

今後も，外国人と日本人が互いに尊重し合い，安心して生活できるよう，多文化共生の取組を推進してまいります。

○観光振興事業について申し上げます。

11月12日に大崎市の「大崎・鳴子温泉コース」を含む宮城オルレと台湾のトレイルコースである淡蘭古道が，双方の交流や発展を目的に「友情の道」として協定を締結しました。

この締結を記念し，日本こけし館の敷地内に，記念の石柱が設置され，その除幕式を執り行いました。

今後，台湾から多くのお客様に宮城オルレ「大崎・鳴子温泉コース」をお楽しみいただけるようプロモーション活動を行ってまいります。

また，4月20日から11月16日まで，合計23回，クルーズトレイン「トランスイート四季島」が，JR陸羽東線鳴子温泉駅に来訪し

ました。

期間中は、受け入れの大崎市実行委員会の皆様をはじめ、鳴子温泉駅や沿線で、お迎えやお見送りに、延べ2, 231人の方々に参加をいただき、心を込めたおもてなしが実施され、国内外から訪れたお客様へ、本市の魅力を発信いたしました。

○令和5年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰の受賞について申し上げます。

公益社団法人全国防災協会が実施する「令和5年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰」において、「大崎市水害に強いまちづくり」共同研究に取り組んだ大崎市と一般社団法人東北地域づくり協会が連名で調査・研究功労の部門で表彰されました。

11月10日に、東京都で開催された災害復旧促進全国大会において表彰状の授与が行われ、個人51名、団体13団体を代表して謝辞を述べてまいりました。

引き続き、本研究で提案している「新・水害

に強いまちづくり」の内容を実践できるように、各関係機関に提案，調整を図ってまいります。

○国及び県の道路事業について申し上げます。

国道47号の鳴子温泉馬場地区滝の沢橋付近の未改良区間につきましては，これまで懸案事項となっていた関係地権者との合意により，道路用地が確保され，工事着手の段階に移行となりました。

県事業であります並柳福浦線並びに古川中央線につきましては，道路拡幅や無電柱化などの事業が完了し，交通渋滞の緩和・解消や安全で快適な道路空間が確保されました。

また，稲葉小泉線については道路改良工事，鹿島台駅前線については無電柱化に向けた協議が進められており，それぞれ事業の進捗を図っていただいております。

今後とも，事業が推進されるよう，国，県との連携を密にしてまいります。

○公営住宅整備事業について申し上げます。

岩出山上川原住宅建替事業につきましては、
10月19日に上川原町住宅、下川原住宅とも
に関係者ご臨席のもと、工事施工者主催による
安全祈願祭が執り行われました。

現在、基礎工事に着手しており、令和7年度
の供用開始に向けて、引き続き事業を進めてま
いります。

○耐震改修促進事業について申し上げます。

木造住宅の耐震診断助成事業につきましては、
11月30日現在で23件、耐震改修工事助成
事業につきましては9件の受付となっております。

また、危険ブロック塀等除却事業補助金につ
きましては、21件の受付となっております。

当事業の対象となる多くの方にご利用いただ
くよう、引き続き事業の周知・啓発を行ってま
いります。

○「みちのくダム湖サミット in 鳴子」につい
て申し上げます。

11月21日に第14回みちのくダム湖サミットを鳴子総合支所を会場に開催いたしました。

当日は、国土交通省水管理・国土保全局の河川環境課長から基調講演をいただくとともに、鳴子温泉もりたびの会による水源地域での活動報告や川崎町長、七ヶ宿町長及び私、大崎市長によるパネルディスカッションを実施し、水源地域の活性化策について議論いたしました。

また、会場の外においては、マルシェなども開催し、多くの皆様にサミットとあわせてご来場いただきました。

今後とも、観光や学習などの交流の場として、積極的にダムの利活用を推進してまいります。

○学校教育環境整備について申し上げます。

10月26日に開催された鳴子温泉地域の学校統合準備委員会において、統合校の校名を「大崎市立鳴子小中学校」とすることが決定されました。

また、施設整備につきましては、実施設計を行っており、令和7年4月の開校に向けて校舎

等の改修を順次進めてまいります。

松山地域につきましては，9月24日に下伊場野小学校PTA，10月24日に下伊場野地区住民を対象に学校再編に関する意見交換会を開催し，いずれも概ね了承を得ているところであります。

今後とも，子どもたちのより良い教育環境を整備するため，丁寧な話し合いを行い，統合に向けた調整を進めてまいります。

○生涯学習事業について申し上げます。

11月5日に田尻文化センターを会場に令和5年度の最後を飾る「劇場公演」を開催しました。大崎市民が一から作る朗読劇として，本市化女沼を舞台にしたオリジナル作品を15名の市民メンバーが演じました。

また，中学生から社会人までの青年層に中高生ボランティア14名を加えた実行委員会が主催した「イレブンフェス」も同時開催し，会場全体が大いに盛り上がりました。

11月19日には，三本木総合体育館を会場

にスポーツフィールドおおさき市民交流会「第1回ボッチャおおさきカップ」を開催したところ、24チーム80人にご参加をいただき、世代や障がいの有無を越え、楽しみながらも真剣勝負が繰り広げられました。

引き続き、市民が芸術文化やスポーツに触れる機会を提供してまいります。

○水道事業について申し上げます。

今年度予定しております管路更新及び整備の工事につきましては、他の工事と調整中の2件を除き、発注済みであり、引き続き水道施設の強靱化に取り組んでまいります。

○下水道事業について申し上げます。

公共下水道の全体計画区域を対象に策定を進めております「雨水管理総合計画」につきましては、当面、中期、長期にわたる浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備方針などの基本的な事項を定めるものであり、このほど中間案がまとまりました。

今後は、市民皆様のご意見をいただきながら、今年度末の策定に向け作業を進めてまいります。

○病院事業について申し上げます。

10月7日に「第5回大崎市民病院ふれあい健康フェスティバル」を4年ぶりに開催し、約400名の皆様にご参加をいただきました。市内中学生を対象とした職場体験やミニステージなど市民病院を身近に感じていただく機会となりました。

また、10月16日に、地域全体の医療の質向上と充実を図るため「第17回大崎市民病院登録医のつどい」を開催し、33施設42名の登録医にご参加をいただきました。4年ぶりに会場にお集まりいただき、様々な意見交換を行うことができました。

令和6年4月採用予定の臨床研修医の募集につきましては、5年連続で定員の19名を確保することができました。

教育研修体制の充実と医療の質向上に努めるとともに、地域の関係機関と連携強化を図り、

「地域完結型医療」の推進に取り組んでまいります。

以上、主な事項について申し上げましたが、今定例会へ提案いたします補正予算等議案に関する説明は、別途申し上げることとし、行政報告といたします。